

富士東高校 部活動の基本方針

1 スクール・ミッション

大学との連携・協働による探究学習の充実を図るカリキュラム研究を核とした、地域から信頼される文武両道の富士地区普通科高校として、社会的な課題に関心を持ち、自律的なキャリアデザインを描きながら自ら進んで学ぶ力を育む教育を通して、地域社会の発展を担い、リーダーとして活躍する人材の育成を目指す。

2 令和5年度設置部活動

【運動部】

陸上競技、野球、剣道、バレーボール男子、バレーボール女子、バスケットボール男子、バスケットボール女子、サッカー、テニス、卓球、体操、柔道、ワンダーフォーゲル、水泳、ハンドボール、バドミントン、応援

【文化部】

吹奏楽、芸術（美術、写真）、英語、新聞、棋道、日本文化（書道、華道、茶道）
演劇、パソコン

3 部活動の活動方針

【目標】

「己ヲ磨キ他二尽クサン」という校訓の下、文武両道の精神に基づき、心身ともに調和が取れ自己管理能力に優れた生徒を育成する。

【意義】

他者との関わり合いの中で、規範意識を育てたり、国際化社会で活躍できる主体性や行動力を培ったりする場として、部活動が重要な役割を果たしていることを踏まえ、本校では全ての生徒が部活動に所属し、クラスや学年を越えた異年齢集団で、豊かな人間性を育む活動を行っている。各教科・科目等のみならず、部活動においても、探究的・課題解決的なプロセスを重視し、自ら学ぶ姿勢を養い、生徒が自己肯定感を高めたり、豊かな社会性を身に付けたりすることを期待している。

【活動目標】

- ・仲間や教員との関わりの中で、社会性や規範意識を育成する。
- ・知力・感性・社会性・体力等、バランスのとれた心身の成長を促す。
- ・大会やコンクールへの参加や日常的な活動を通して、目標に向かって努力する態度を培う。
- ・生涯に渡ってスポーツや芸術活動等に親しむことができるよう、基礎的な実践力を育成する。
- ・生徒や教員が、家族と過ごしたり自己を研鑽したりする時間を十分確保できるよう、部活動時間を効率化する。

【成果目標】

- ・運動部の県大会出場率：100%
- ・文化部の高文連参加率：70%以上

【経費】

部活動に係る経費は、自治会会計による支出を原則とする。その他、個人または団体より特別の経費の協力を得るときは、校長の承認を必要とし、収支報告をする。

※詳細は生徒指導内規、PTA等の規程による。

4 各部活動の休養日・活動時間

【休養日】

週に2日以上（平日1日、休日1日）は休みを取ることに心掛ける。多めに活動した場合は、一定期間内の他の日に振り替えるなどの調整を行う。

【活動時間】

平日は長くとも3時間程度、休日は4時間程度。

平日は、片付けを含め午後7時30分には完全下校。

【運用上の留意点】

ア 活動はできる限り短時間に、合理的かつ効率的・効果的な活動になるように配慮する。

イ 長期休業中やテスト期間、シーズンオン・オフ等の期間を活用し、生徒がまとまった休養が取れるように配慮する。

ウ 定期テスト1週間前から、部活動自粛期間とする。ただし、公式戦（準公式戦）を控える部については、テスト前部活動練習計画を事前に示し、練習する。その場合の活動時間は概ね1時間とする。

5 活動計画・活動実績簿等（各部で作成）

・年間活動計画・・・年度当初に、年間の大会や遠征等の計画と年度の目標を設定

・月間活動計画・・・前月の月末までに、各月の活動計画を設定

※年間活動計画、月間活動計画は、作成後、生徒に配布する。